

生方ゆういち

市議会レポート

2002年1月24日発行

17

発行：国立市議会議員 うぶかたゆういち 生方裕一

(自宅) 〒186-0003 国立市富士見台 2-32-8

・FAX 042(573)3389

Eメール heart-ubufuls@nifty.com

(議会) 〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1

・FAX 042(576)2205

《ごあいさつ》

2002年の幕開けとなりました。皆様におかれましては、新年をどのように迎えられたでしょうか。昨年2001年は、参議院議員選挙、都議会議員選挙と二つの大きな選挙があり、私も民主党の一員として取り組みました。皆さんのお力をいただき、参院選東京選挙区では鈴木かんさん(民主党公認)が、都議選では生活者ネットワークの大西ゆき子さん(民主党推薦)が見事当選することができました。両選挙とも、小泉旋風にさらされて完全勝利とはならなかったものの、民主党への国民・都民の皆さんの期待が依然強いことをひしひしと感じた選挙でした。皆さんから民主党にお寄せいただいたご支援に心から感謝申し上げます。

さて、私たち国立市議会議員の選挙も、いよいよ来年の4月に迫ってきました。私は、残り1年2ヵ月余りの任期の中で、皆さんに提示した公約(「行政改革は議会改革から」「小さな役所で大きなサービスを」「市民参加で民主的な市政を」の3項目)について一つでも多く実現できるよう、これからも努力していきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

生方裕一の近況報告

もくじ

「編集後記」	2ページ
「今後の議会日程」	2ページ
「上原市政を考える」	2ページ
「生方裕一の近況報告」	1ページ
「ごあいさつ」	1ページ

12月市議会で
一般質問を行

「電子市役所への取り組み」「公用車の管理・運行」「市内運動場の貸出等」について質問。

今年の駅頭活動は1/9開始

毎週水曜日に行っている朝の街頭活動を、今年1月9日から国立駅南口前でスタート。

犯罪被害者支援に取り組む

去年12月にシンポジウムを主催し、仲間と『はじめよう！被害者支援』を出筆、発売中。

木工ろくろに挑戦していま

日の出町の間伐材を有効活用し、電動木工ろくろを操って、サラダボール等作品を創作中。

この機関紙は、再生紙を使用しています。

「官主導」から「民主導」への変革の流れ

1999年4月の国立市長選挙で、上原市長は当時現職だった佐伯有行氏を僅差で破って初当選した。市の財政再建を最優先に取り組んでいた佐伯市政に対し、私は一貫して支持・協力してきたので、この選挙結果は大変ショックだった。私は、今でも佐伯前市長の目指したものは間違っていないかと信じている。ただ、佐伯前市長周辺の「自分は正しい」という確信や大衆とむやみに迎合しないという自負心がかえって災いしたのでは、という反省と悔いは、未だ私自身の中に残っている。1998年～99年の保育料値上げなど、市民からは役所主導で市民不在ではないかとの疑問や不信が芽生え始めていた。そんな時だからこそなおさら、現上原市長の唱えた「市民参加」という公約が、有権者に評価されたのではないかと。私は、市の最重要課題の「財政再建」の解決に向け、上原市長が前市政との違いを示せるのか、注目している。

「運動家」から「役所の長」への転換は？

上原市長には1991年から4年間の市議経験があり、その前後に市民運動の経験を持つ。当時から一匹狼的に奔放・独自に活動していた印象が私には強い。が、昨日までの運動家も市長就任後は、職員500人超の自治体のリーダーとしての指導・統率力が求められるのは当然だ。また、市議会では上原市長を全面的に支持する議員は22名中9名と少数であり、政権基盤は極めて不安定だ。2001年の9月議会を発端に「教育委員の選任・同意」問題が生じ、結果として教育委員1名の欠員状態が今も続いている。これは、上原

市長が議会全体の意見に耳を傾けず、一方的に自分の考えを押し通そうとした結果に他ならない。さらに上原市長はこの混乱を、「一部議員の審議拒否が原因」と全くのウソの演説を国立駅前で行い、議会の反発・混乱を増幅させてしまった。後に議場で上原市長は、「私の言動で議会や市民等に誤解や不信を招いてお詫びする」と陳謝し、自らを懲戒処分とせざるを得ない状況に陥った。また市職員からも、「組織のルールを守らない」、「場当たりの対応が多い」など、上原市長への信頼は十分ではない。上原市長は今こそ、市長としての自覚と責任を持って、市民に示した公約実現のため、市職員をまとめ上げ、議会とは緊張と強調の関係を築くことが必要ではないか。

私たち議会も、その真価が問われている

上原市長サイドからは、「(議案提出に関して)議会との細かい調整は必要ない」、「議会は提案された案件について、審議すればいい。結果、否決されても構わない」という声が聞こえてくる。そもそも、こんな態度が議会の反発を買い易いのだが、議員もただ上原市長に逆らうだけでは、自らの責任を果たしているとは言えない。議員一人ひとり、自分の政策・公約を全面に出して、感情ではなく、理論で市長と闘うことが必要と私は考える。私としては、3年前の選挙で有権者が上原市長を選んだという事実を真摯に受け止め、市民が上原市長に求めていることを実現させていくことも自分の仕事と考えている。また、市の財政状況は依然厳しい状況にあることから、佐伯市政からの最重要課題である「行財政改革」についても、議会が率先して取り組んでいくよう提案し、その実現に向けてさらに努力することを、私は表明しておきたい。

編集後記

私は、3年前の市議会議員選挙に民主党公認で立候補し、当選させていただきました。現在も民主党のメンバーとして、末松義規衆議院議員とも協力し、大学通りマンション建設問題など、くにたちのまちづくりに取り組んでいます。皆さんのご意見・ご要望等をお寄せください。

今後の議会日程

全員協議会 2月1日(金)
 決算特別委員会 2月4・5・7・8日
 第一回定例会 2月27日
 (水から開会の予定です)

何れも午前十時開会です。

詳しくは議会事務局(5

76-2205)までどうぞ。